

第6次訓子府町総合計画策定のための

「町民アンケート調査」

結果報告書

平成28年2月

訓子府町

アンケート調査の概要

1.《調査の目的》

この調査は、第6次訓子府町総合計画（平成 29 年度～平成 38 年度）の策定にあたり、町民のまちの現状に対する評価、今後のまちづくりに関する意向、行政に対する要望等を把握し、できる限り町民の意思を計画に反映させることを目的に実施しました。

2.《調査期間》

平成 27 年 10 月 1 日から平成 27 年 10 月 20 日まで

3.《調査対象者》

この調査は、住民基本台帳に登載されている満 18 歳以上＜平成 27 年 4 月 1 日現在＞の町民の方を対象として実施しました。

調査対象者数 4,478 人

4.《調査方法》

町内会、実践会の組織を通じ、配付・回収を行いました。

5.《回収結果》

	今回調査（H27）	前回調査（H17）
配付票数	4,470 票	5,148 票
回収票数	3,052 票	4,267 票
回 収 率	68.3%	82.9 %

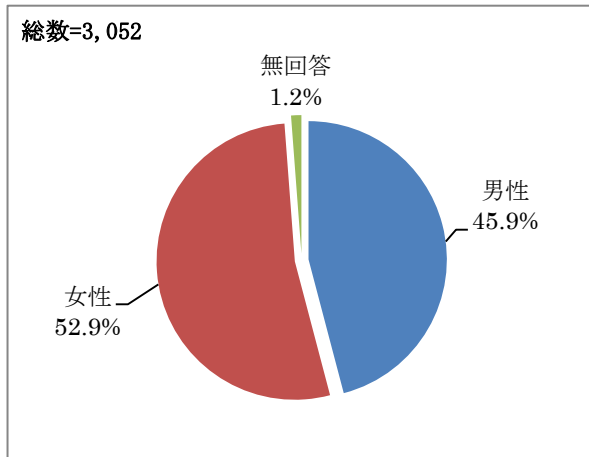
目 次

問 1	まず、あなたご自身のことについて、お聞きします。	1
	(ア) 性別	1
	(イ) 年齢	1
	(ウ) 職業	1
	(エ) お住まいの地区	2
	(オ) 現在のお住まい	2
	(カ) 家族構成	2
問 2	あなたは、訓子府町にどのくらい住んでいますか。	3
問 3	問2で「2」から「4」のいずれかを選んだ方で平成元年以降に転入してきた方にお聞きします。訓子府町に移り住んだ主な理由は何ですか。	4
問 4	あなたは、訓子府町が好きですか。	4
問 5	問4で「1」もしくは「2」を選んだ方にお聞きします。訓子府町が「好きな理由」は何ですか。	5
問 6	問4で「3」もしくは「4」を選んだ方にお聞きします。訓子府町が「嫌いな理由」は何ですか。	5
問 7	あなたは、今後も訓子府町に住み続けたいと思いますか。	6
問 8	あなたは、訓子府町の「行政サービス」に満足していますか。	6
問 9	訓子府町の「産業を活性化」するために重要と感ずること、積極的に進めてほしいと思うことは何ですか	7
問 10	訓子府町の「生活環境を快適」にするために重要と感ずること、積極的に進めてほしいと思うことは何ですか。	7
問 11	訓子府町民が「健康に暮らせるまち」にするために重要と感ずること、積極的に進めてほしいと思うことは何ですか。	8
問 12	訓子府町を「福祉の行き届いたまち」にするために重要と感ずること、積極的に進めてほしいと思うことは何ですか。	8
問 13	訓子府町の「子どもを健やかに育むため」に重要と感ずること、積極的に進めてほしいと思うことは何ですか。	9
問 14	訓子府町の生涯学習（趣味活動・芸術・文化・スポーツなど）を推進するために重要と感ずること、積極的に進めてほしいと思うことは何ですか。	9
問 15	あなたは、現在及び将来、町内や地域でどのような活動に参加したい、協力したいとお考えですか。	10

問 16	「住民参加のまちづくり」のために必要だと思うことはどんなことですか。	10
問 17	「男女共同参画」の推進のために必要だと思うことはどんなことですか。	11
問 18	あなたが「ボランティア」活動を行うとしたらどんなことをしたいですか。	11
問 19	人口減少対策として、訓子府町が取り組むべきことについて、最も重視すべきことは何だと思いますか。	12
問 20	前問に関連して、特に若い世代が訓子府町に住み続け、町外からも集まるような町にするためには、どんな対策が必要とお考えですか。アイデアがありましたら記入してください。【自由記入】	別冊
問 21	訓子府町が安定した行財政運営を進めていくためには、何が重要とお考えですか。	13
問 22	今後、訓子府町は、どの分野に最も力を注いでまちづくりを推進すべきとお考えですか。	13
問 23	訓子府町で実施している事業で不要と思うものと、逆に新たに実施または充実すべきと思うものがありましたら記入してください。【自由記入】	14
問 24	最後に、町政全般に関するご意見やご要望、「まちづくり」へのアイデアなど、どんなことでも結構ですので、ご自由に記入してください。【自由記入】	別冊

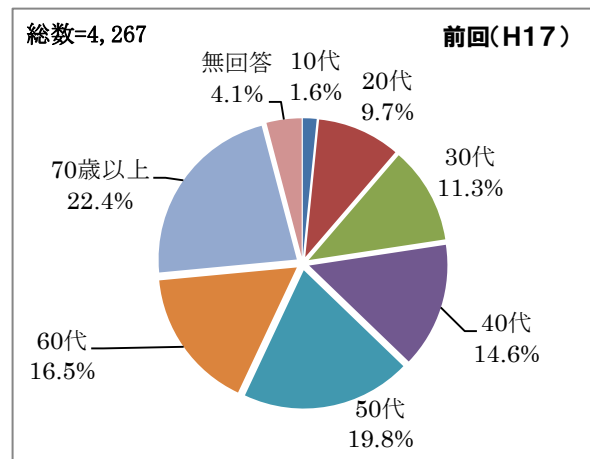
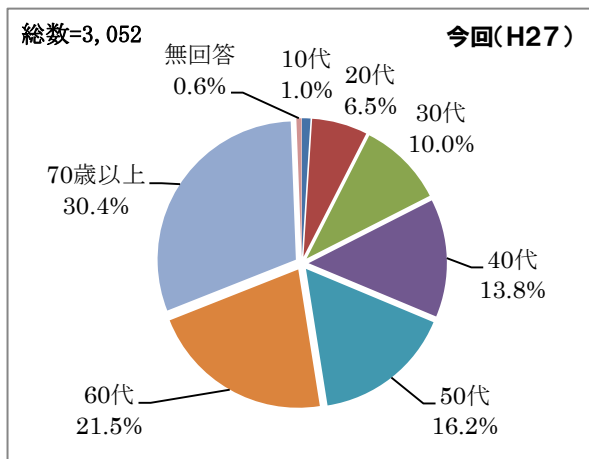
問1 まず、あなたご自身のことについて、お聞きします。

(ア) 性別



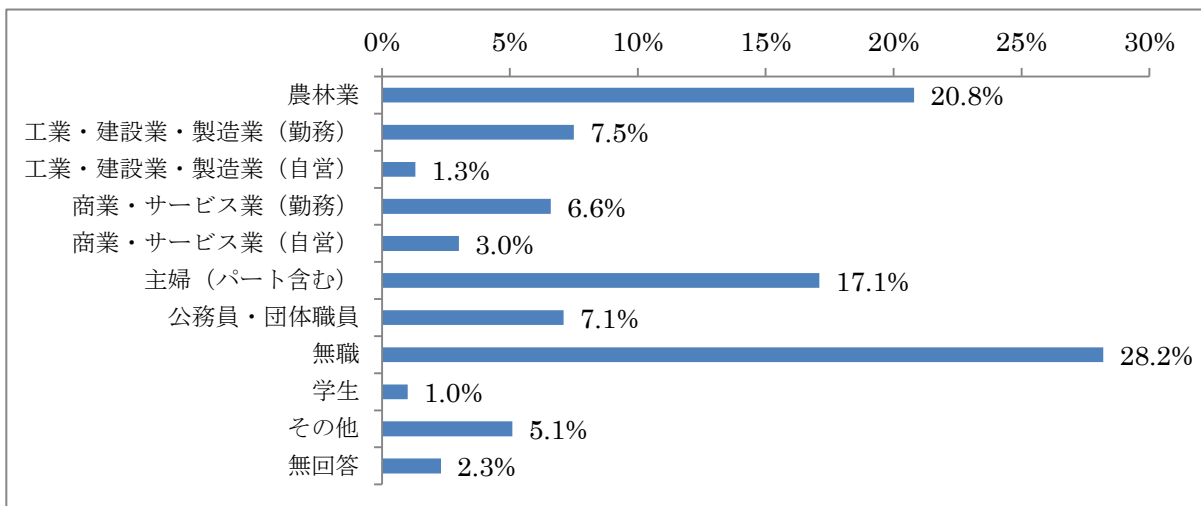
「男性」が 45.9%、「女性」が 52.9%で、女性が
多い結果となりました。

(イ) 年齢



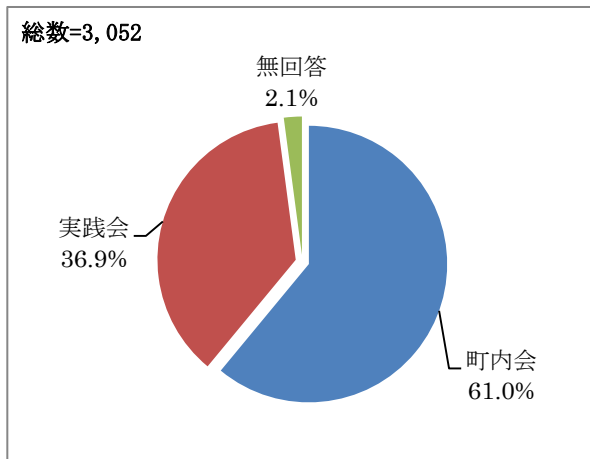
前回調査と比較すると、「10代」から「50代」の割合が減少し、「60代」と「70歳以上」の割合が
増加しています。特に、「70歳以上」は 22.4%から 30.4%まで増加しています。

(ウ) 職業



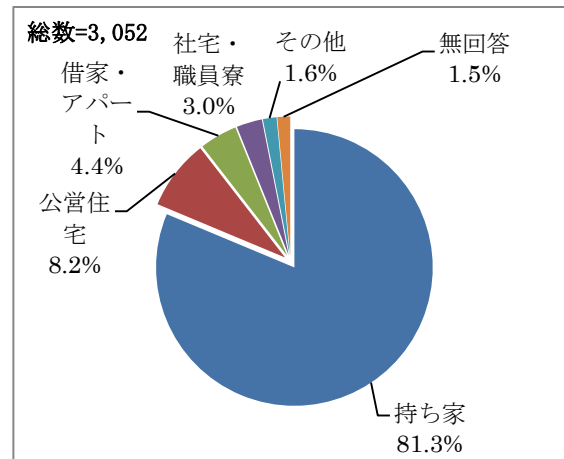
「無職」が 28.2%で最も多く、次いで「農林業」の 20.8%、「主婦（パート含む）」の 17.1%の順と
なっています。

(エ) お住まいの地区



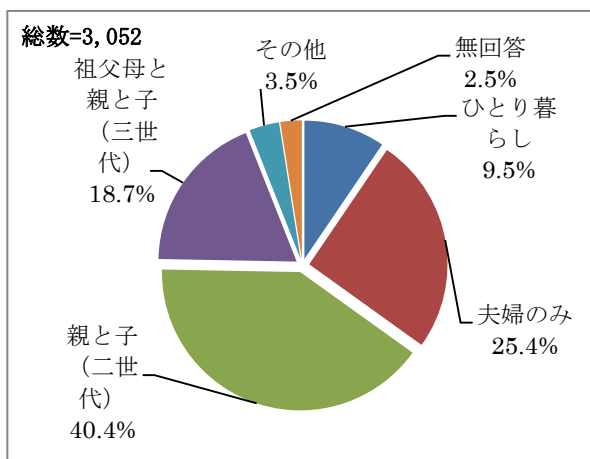
「町内会」が 61.0%、「実践会」が 36.9%で、町内会地区が多い結果となりました。

(オ) 現在のお住まい



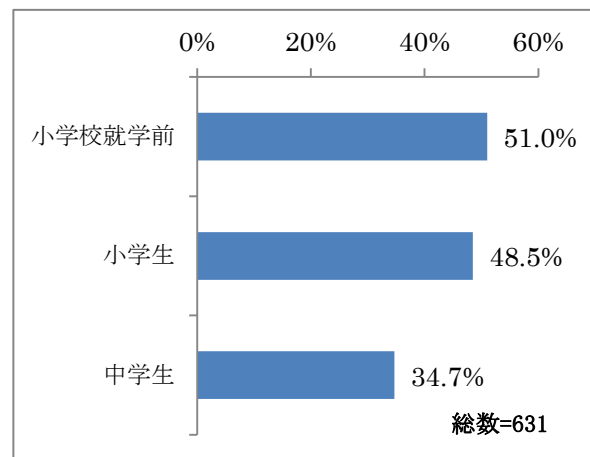
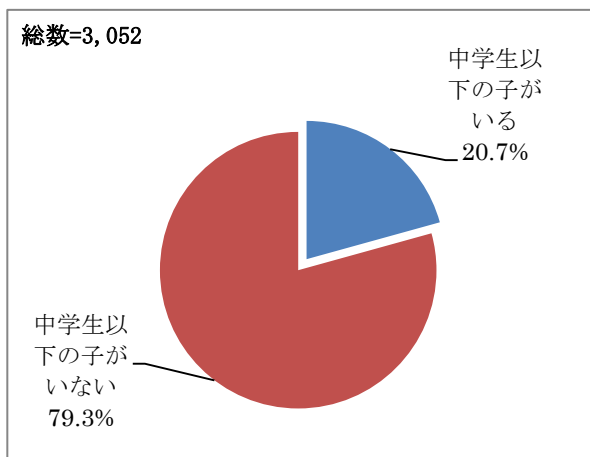
「持ち家」が 81.3%で大半を占めており、次いで「公営住宅」の 8.2%、「借家・アパート」の 4.4%の順となっています。

(カ) 家族構成



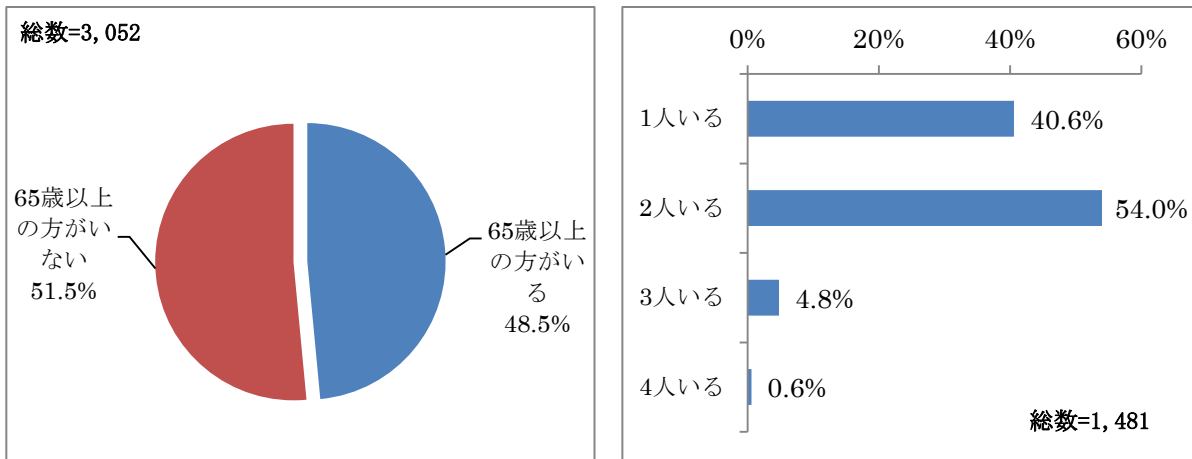
「親子(二世)」が 40.4%で最も多く、次いで「夫婦のみ」の 25.4%、「祖父母と親子(三世)」の 18.7%の順となっています。

a. 同居するご家族に中学生以下のお子さんがある場合【〇はいくつでも】



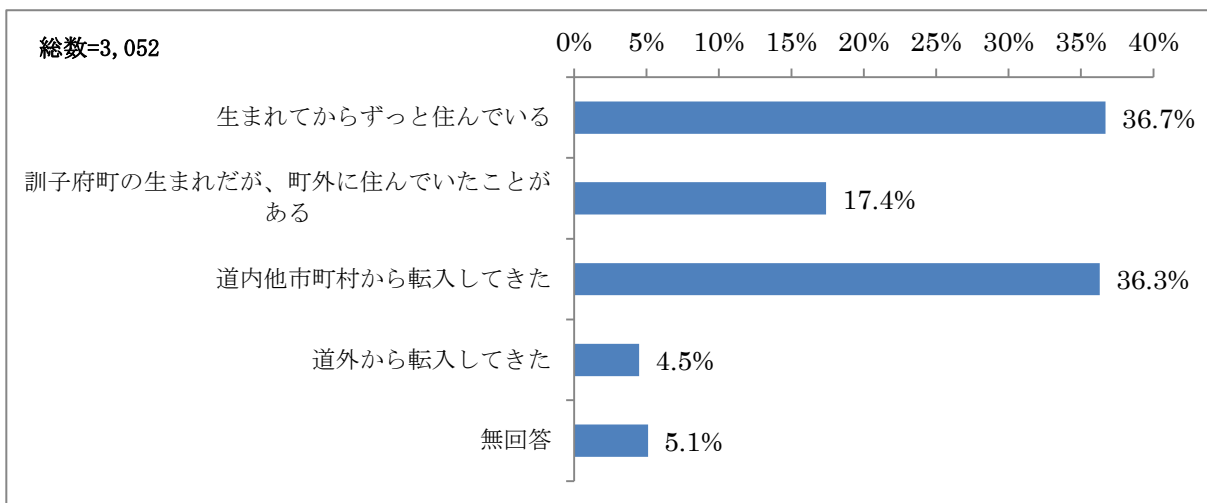
「中学生以下の子がいる」と回答した方が 20.7% (631 人) で、そのうち小学校就学前のお子さんがある方が 51.0%、小学生が 48.5%、中学生が 34.7%となっています。

ｂ. 同居するご家族に 65 歳以上の方がいる場合【ご本人を含めた人数を記入】



「65 歳以上の方がいる」と回答した方が 48.5%（1,481 人）で、そのうち 1 人いる方が 40.6%、2 人が 54.0%、3 人が 4.8%、4 人が 0.6%となっています。

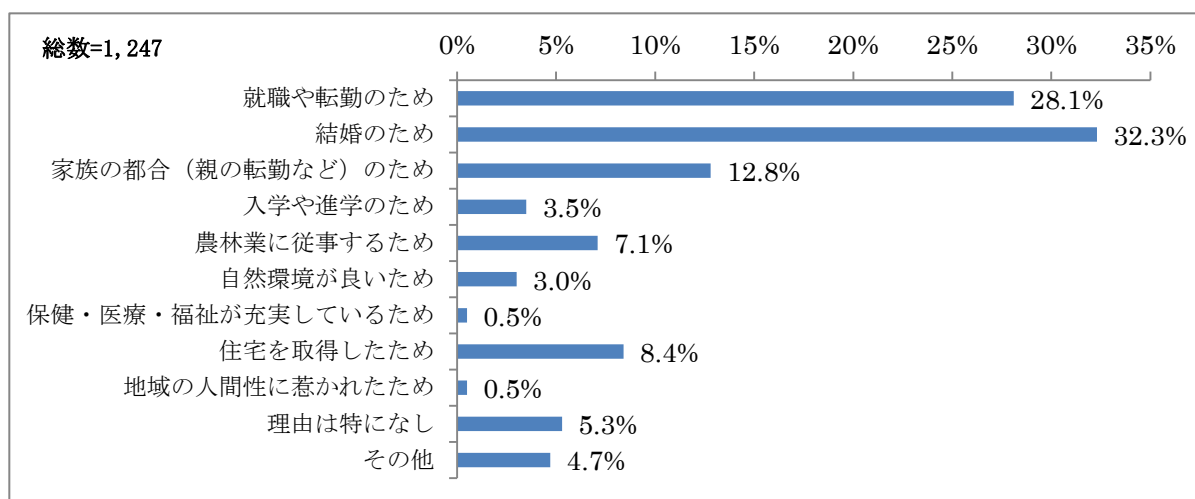
問2 あなたは、訓子府町にどのくらい住んでいますか。



「生まれてからずっと住んでいる」が 36.7%、「訓子府町の生まれだが、町外に住んでいたことがある」が 17.4%で、合わせて 54.1%の方が訓子府町生まれという結果となっています。

【地区別】 実践会地区では 65.0%の方が訓子府町生まれという結果であるのに対し、町内会地区では 48.1%にとどまっています。

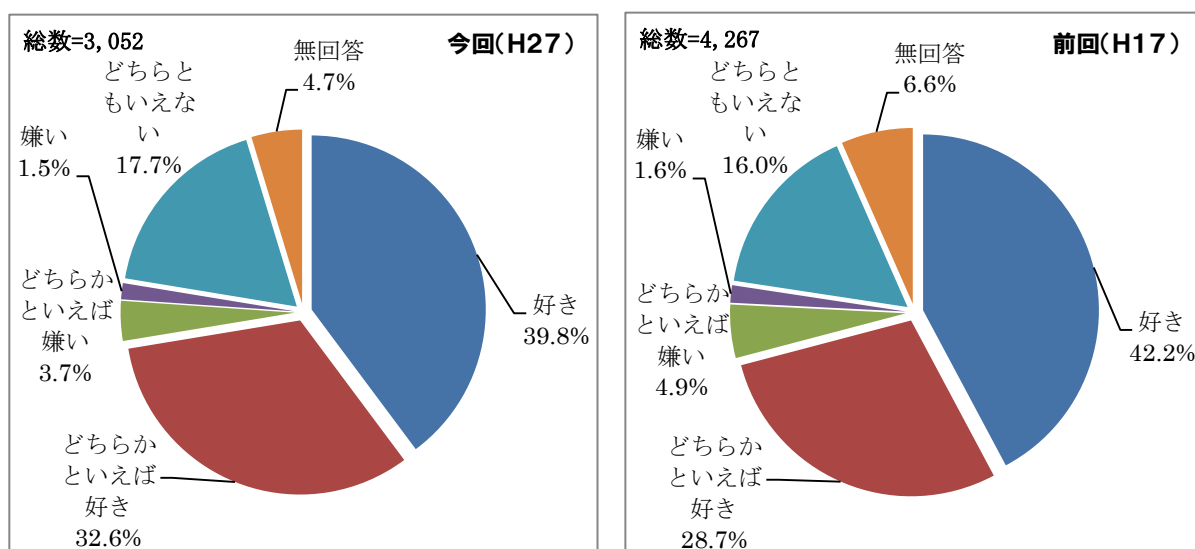
問3 問2で「2」から「4」のいずれかを選んだ方で平成元年以降に転入してきた方にお聞きます。
訓子府町に移り住んだ主な理由は何ですか。【○は2つまで】



「結婚のため」が32.3%、「就職や転勤のため」が28.1%で、合わせて60.4%を占めています。

男女別 男性の最も多かった回答が「就職や転勤のため」（43.3%）で、女性の最も多かった回答が「結婚のため」（49.2%）となっています。

問4 あなたは、訓子府町が好きですか。



「好き」が39.8%、「どちらかといえば好き」が32.6%で、合わせて72.4%の方が訓子府町が好きと回答しており、前回調査と比較すると1.5%増加しました。

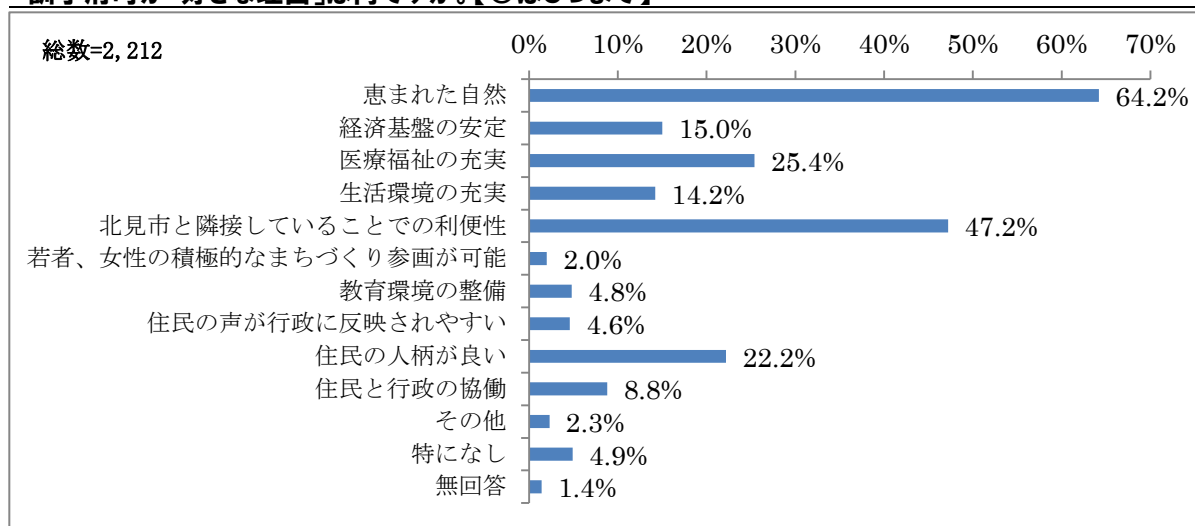
年齢別 「好き」もしくは「どちらかといえば好き」と回答した割合が最も多かったのが10代の方（80.0%）で、次いで70歳以上の方（75.9%）、60代の方（73.8%）の順となっています。一方、その割合が最も低かったのが40代の方（65.6%）で、次いで50代の方（70.9%）、30代の方（71.4%）の順となっています。

職業別 「好き」もしくは「どちらかといえば好き」と回答した割合が最も多かったのが農林業の方（79.4%）で、反対に最も少なかったのが工業・建設業・製造業（自営）の方（62.5%）で、次いで学生の方（64.5%）、工業・建設業・製造業（勤務）の方（66.0%）の順となっています。

地区別 実践会地区では76.2%の方が「好き」もしくは「どちらかといえば好き」と回答しているのに対し、町内会地区では70.9%にとどまっています。

問5 問4で「1」もしくは「2」を選んだ方にお聞きします。

訓子府町が「好きな理由」は何ですか。【〇は3つまで】



「恵まれた自然」が 64.2%と最も多く、次いで「北見市と隣接していることでの利便性」の 47.2%、「医療福祉の充実」の 25.4%の順となっています。

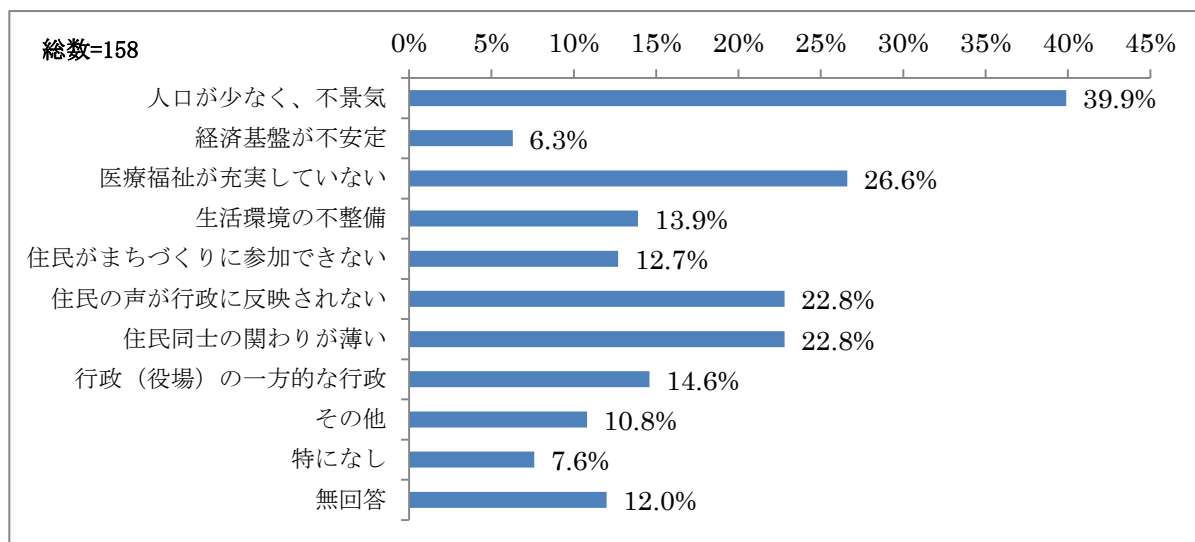
また、前回調査（H17）で3番目に多かった「経済基盤の安定」（29.7%）が5番目に下がり、6番目であった「医療福祉の充実」（14.1%）が3番目に上がりました。

男女別 男女で特に差が大きかったのが「医療福祉の充実」で男性の 34.3%に対して、女性は 17.9%にとどまっています。

職業別 「経済基盤の安定」と回答した方は全体では 15.0%でしたが、農林業の方で回答した割合が非常に多く、48.3%となっています。

問6 問4で「3」もしくは「4」を選んだ方にお聞きします。

訓子府町が「嫌いな理由」は何ですか。【〇は3つまで】



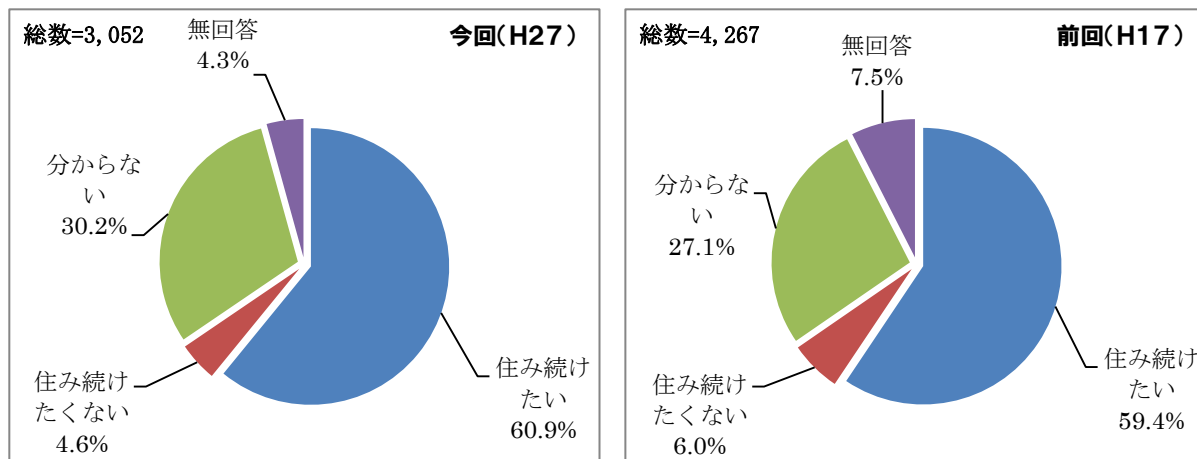
「人口が少なく、不景気」が 39.9%と最も多く、次いで「医療福祉が充実していない」の 26.6%、「住民の声が行政に反映されない」及び「住民同士の関わりが薄い」の 22.8%の順となっています。

また、前回調査（H17）と比較すると、「住民同士の関わりが薄い」と回答した割合が 13.6%から 22.8%へ増加し、「行政（役場）の一方的な行政」と回答した割合が 24.4%から 14.6%へ減少しました。

男女別 男女で特に差が大きかったのが「医療福祉が充実していない」で女性の 31.7%に対して、男性は 21.3%にとどまっています。

年齢別 「医療福祉が充実していない」と回答した方は全体では 26.6%でしたが、70 歳以上の方で回答した割合が非常に多く、48.3%となっています。

問7 あなたは、今後も訓子府町に住み続けたいと思いますか。

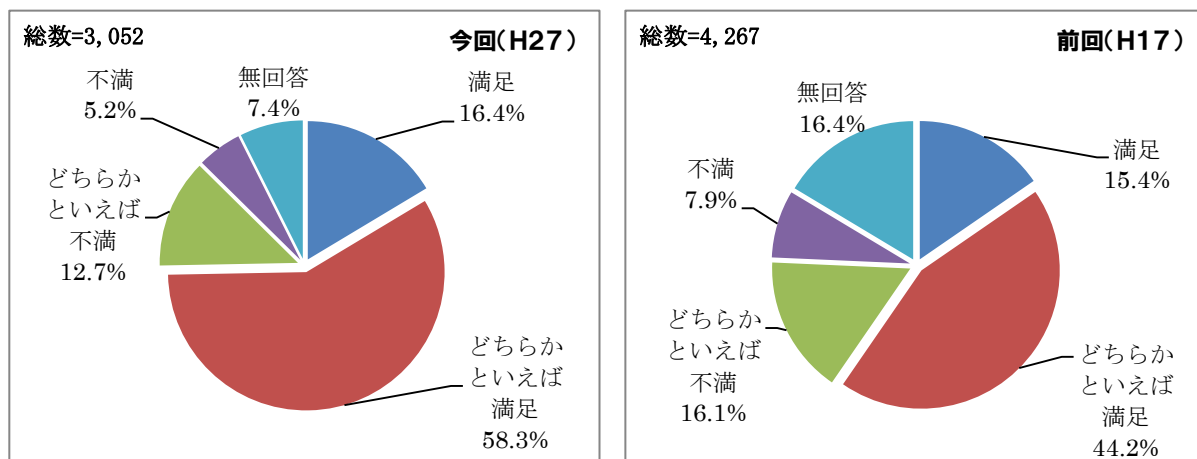


前回調査と比較すると「住み続けたい」が60.9%で1.5%増加し、「住み続けたくない」が4.6%で1.4%減少しました。

職業別 「住み続けたい」と回答した割合が最も多かったのが農林業の方（72.7%）で、反対に最も少なかったのが学生の方（25.8%）、次いで商業・サービス業（勤務）の方（43.5%）となっています。

地区別 「住み続けたい」と回答した割合が実践会地区で66.2%に対し、町内会地区では58.6%となっています。

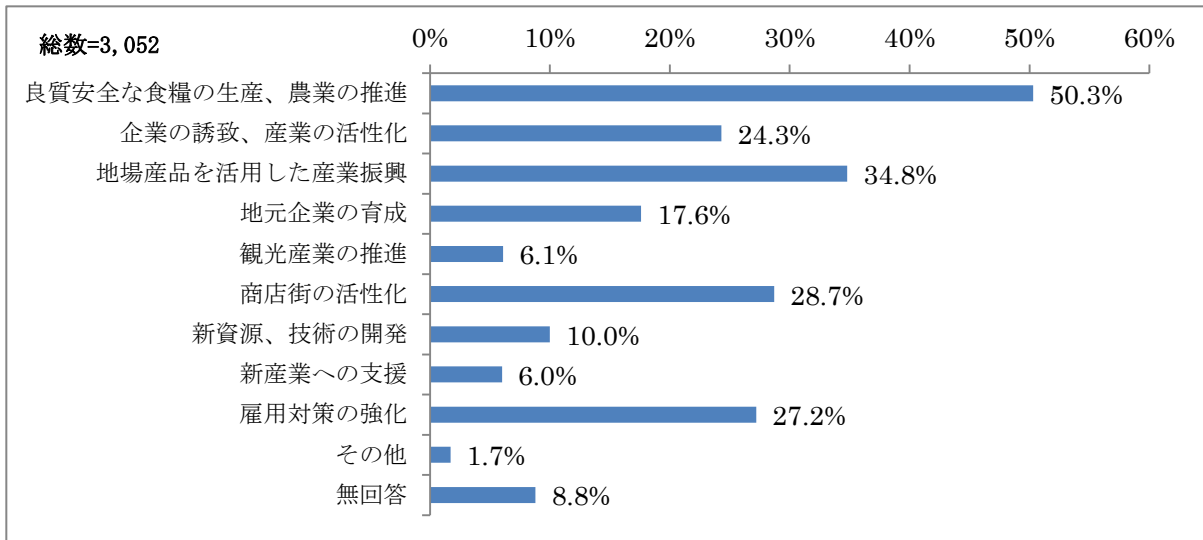
問8 あなたは、訓子府町の「行政サービス」に満足していますか。



「満足」が16.4%、「どちらかといえば満足」が58.3%で、合わせて74.7%の方が満足と回答しており、前回調査と比較すると15.1%増加しました。

年齢別 「満足」もしくは「どちらかといえば満足」と回答した割合が最も多かったのが70歳以上の方（78.1%）で、次いで10代の方（76.7%）、60代の方（75.2%）の順となっています。

問9 訓子府町の「産業を活性化」するために重要と感ずること、積極的に進めてほしいと思うことは何ですか。【○は3つまで】

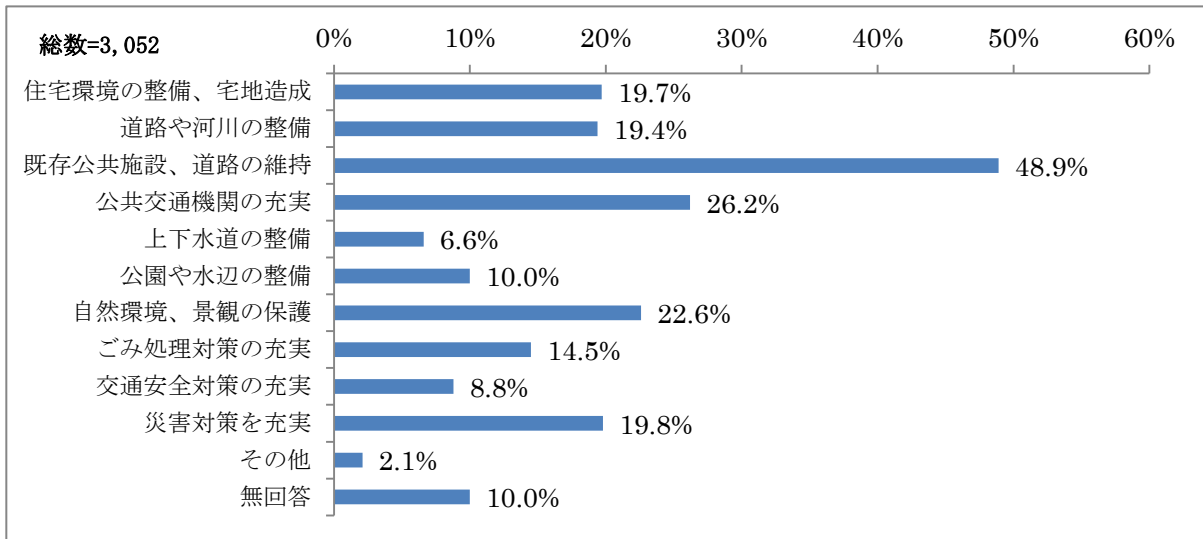


「良質安全な食糧の生産、農業の推進」が50.3%と最も多く、次いで「地場産品を活用した産業振興」の34.8%、「商店街の活性化」の28.7%の順となっています。

年齢別 「雇用対策の強化」と回答した方は全体では27.2%でしたが、特に20代の方で回答した割合が多く、36.4%となっています。

地区別 「良質安全な食糧の生産、農業の推進」と回答した割合が実践会地区で61.0%に対し、町内会地区では44.8%にとどまっています。一方、「商店街の活性化」と回答した割合が町内会地区で33.0%に対し、実践会地区では21.9%にとどまっています。

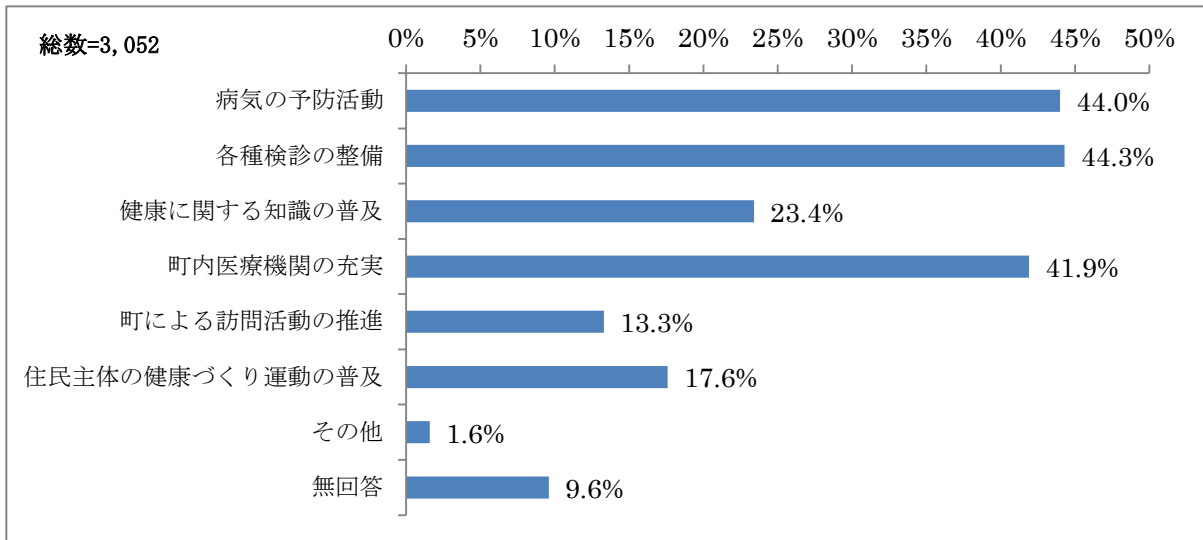
問10 訓子府町の「生活環境を快適」にするために重要と感ずること、積極的に進めてほしいと思うことは何ですか。【○は3つまで】



「既存公共施設、道路の維持」が48.9%と最も多く、前回調査（H17）の40.6%より8.3%増加しました。次いで「公共交通機関の充実」の26.2%、「自然環境、景観の保護」の22.6%の順となっています。

地区別 「道路や河川の整備」と回答した割合が実践会地区で30.1%に対し、町内会地区では13.2%にとどまっています。

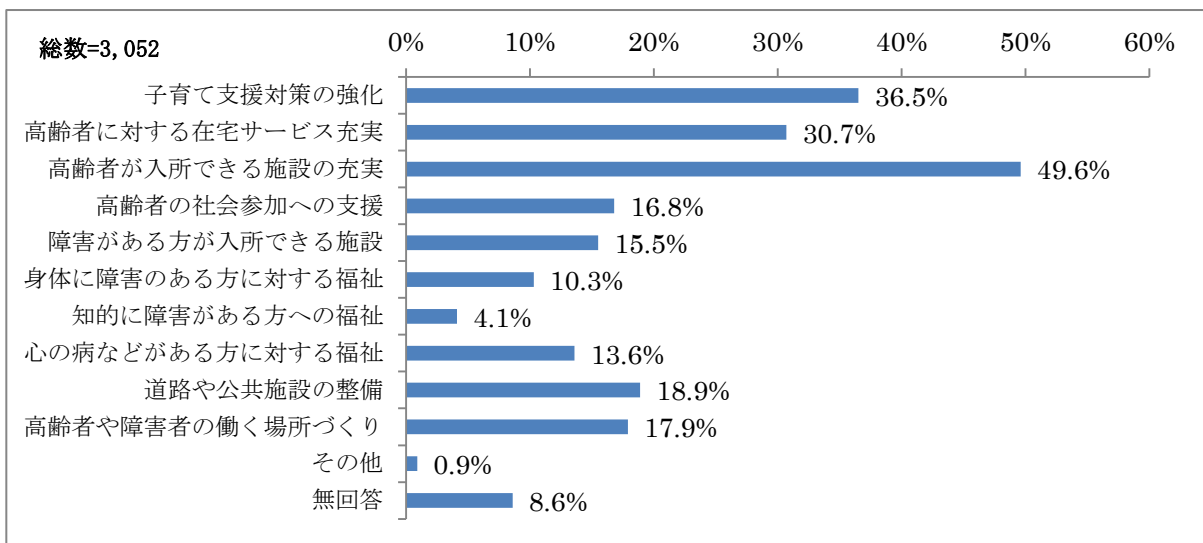
問 11 訓子府町民が「健康に暮らせるまち」にするために重要と感ずること、積極的に進めてほしいと思うことは何ですか。【○は3つまで】



「各種検診の整備」が 44.3%と最も多く、次いで「病気の予防活動」の 44.0%、「町内医療機関の充実」の 41.9%の順となっています。

年齢別 「各種検診の整備」と回答した割合が最も多かったのが 30 代の方（62.3%）で、次いで 40 代の方（55.7%）、20 代の方（54.5%）の順となっています。反対に最も少なかったのは 70 歳以上の方（31.5%）となっています。

問 12 訓子府町を「福祉の行き届いたまち」にするために重要と感ずること、積極的に進めてほしいと思うことは何ですか。【○は3つまで】

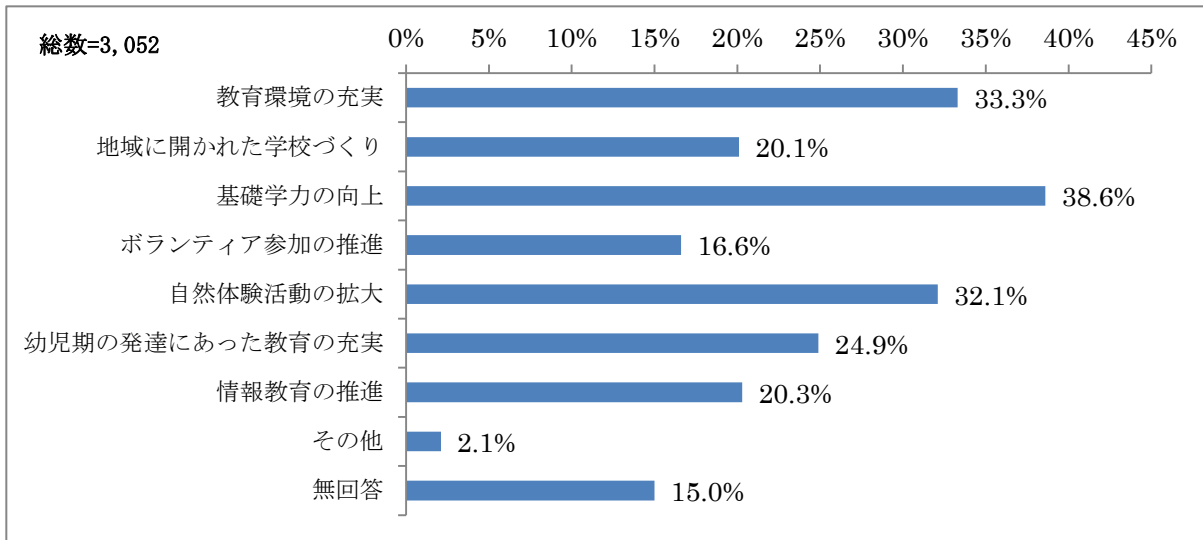


「高齢者が入所できる施設の充実」が 49.6%と最も多く、次いで「子育て支援対策の強化」の 36.5%、「高齢者に対する在宅サービス充実」の 30.7%の順となっています。

男女別 「子育て支援対策の強化」と回答した割合が男性で 41.9%に対し、女性では 32.2%にとどまっています。

年齢別 「高齢者が入所できる施設の充実」については、特に 50 代・60 代・70 歳以上の方で 50%以上の高い割合となっています。

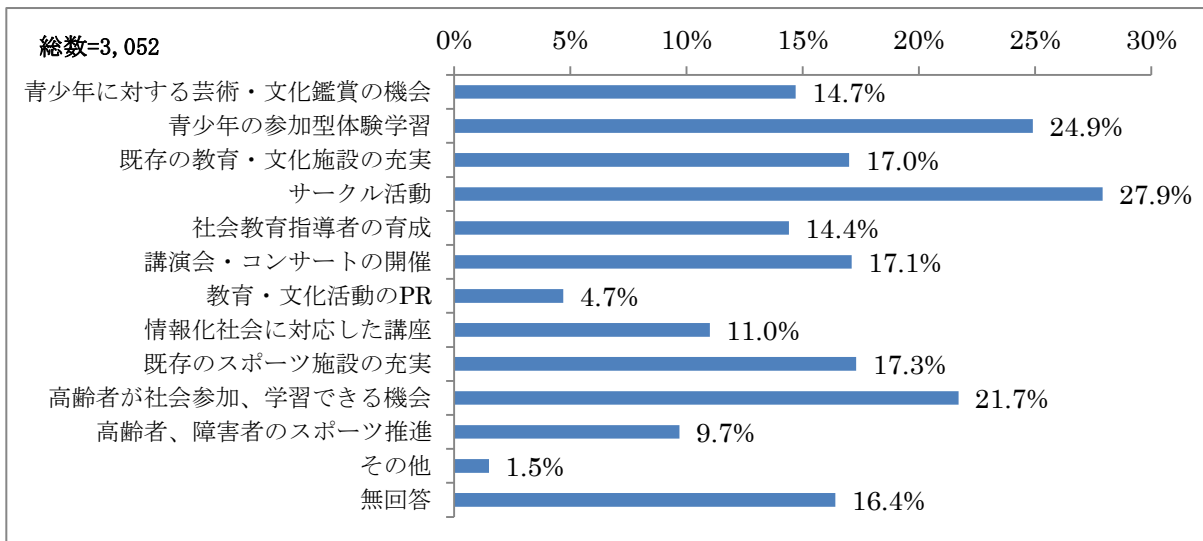
問 13 訓子府町の「子どもを健やかに育むため」に重要と感ずること、積極的に進めてほしいと思うことは何ですか。【○は3つまで】



「基礎学力の向上」が 38.6%と最も多く、次いで「教育環境の充実」の 33.3%、「自然体験活動の拡大」の 32.1%の順となっています。

年齢別 30 代の方では「教育環境の充実」(50.5%)が最も多く、40 代の方では「基礎学力の向上」(46.0%)が最も多くなっています。また、「幼児期の発達にあった教育の充実」と回答した割合が最も多かったのが 20 代の方(36.4%)で、次いで 30 代の方(34.4%)の順となっています。

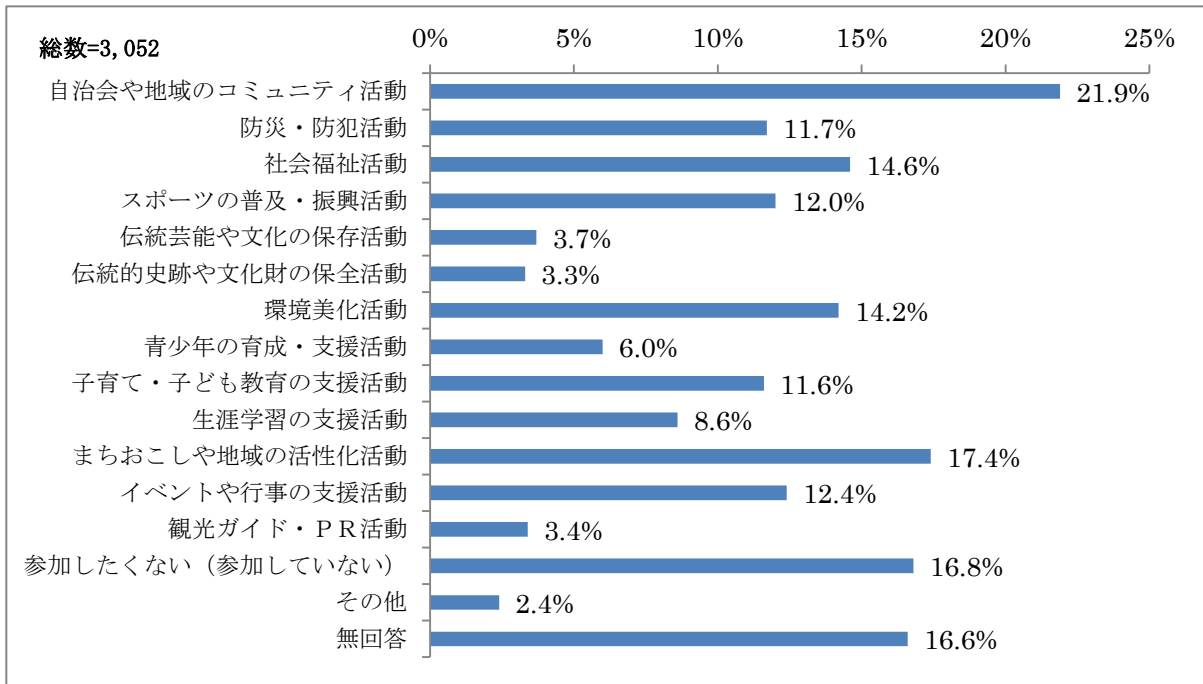
問 14 訓子府町の生涯学習(趣味活動・芸術・文化・スポーツなど)を推進するために重要と感ずること、積極的に進めてほしいと思うことは何ですか。【○は3つまで】



「サークル活動」が 27.9%と最も多く、次いで「青少年の参加型体験学習」の 24.9%、「高齢者が社会参加、学習できる機会」の 21.7%の順となっています。

年齢別 「高齢者が社会参加、学習できる機会」と回答した割合が最も多かったのが 60 代の方(29.9%)で、次いで 70 歳以上の方(29.4%)、50 代の方(19.4%)の順となっています。また、「既存のスポーツ施設の充実」と回答した割合が最も多かったのが 10 代の方(33.3%)で、次いで 30 代の方(32.8%)、20 代の方(31.3%)の順となっています。

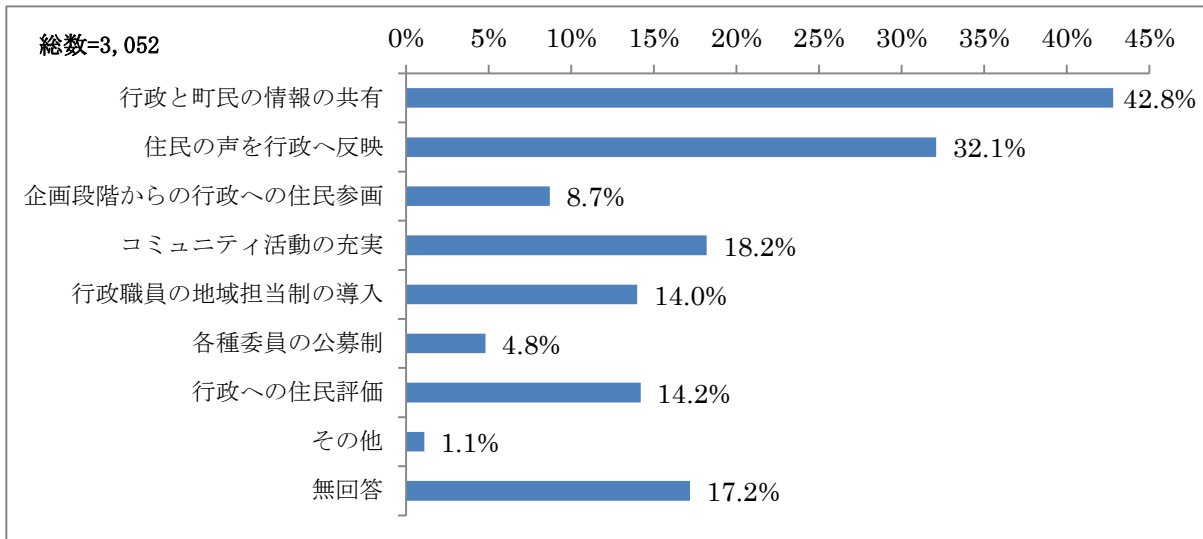
問 15 あなたは、現在及び将来、町内や地域でどのような活動に参加したい、協力したいとお考えですか。【当てはまるものをすべて選んで○を付けてください】



「自治会や地域のコミュニティ活動」が21.9%と最も多く、次いで「まちおこしや地域の活性化活動」の17.4%、「参加したくない（参加していない）」の16.8%の順となっています。

年齢別・職業別 「参加したくない（参加していない）」と回答した方の割合が特に多かった分類は、年齢別では20代の方で20.7%、職業別では学生の方で29.0%となっています。

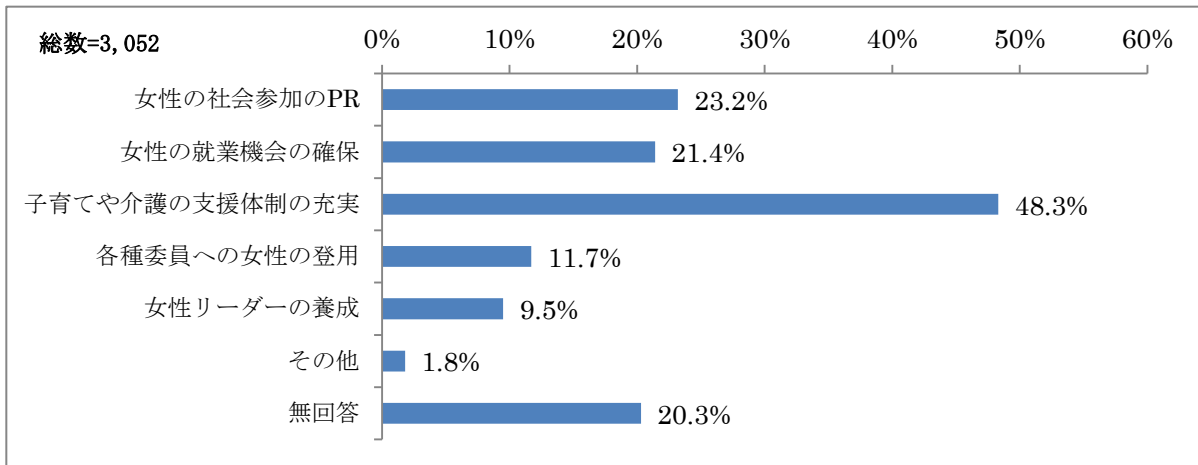
問 16 「住民参加のまちづくり」のために必要だと思うことはどんなことですか。【○は2つまで】



「行政と町民の情報の共有」が42.8%と最も多く、次いで「住民の声を行政へ反映」の32.1%、「コミュニティ活動の充実」の18.2%の順となっています。

また、前回調査（H17）と比較すると、「住民の声を行政へ反映」と回答した割合が40.1%から32.1%へ、「企画段階からの行政への住民参画」と回答した割合が10.7%から8.7%へ減少しています。

問 17 「男女共同参画」の推進ために必要だと思うことはどんなことですか。【〇は2つまで】

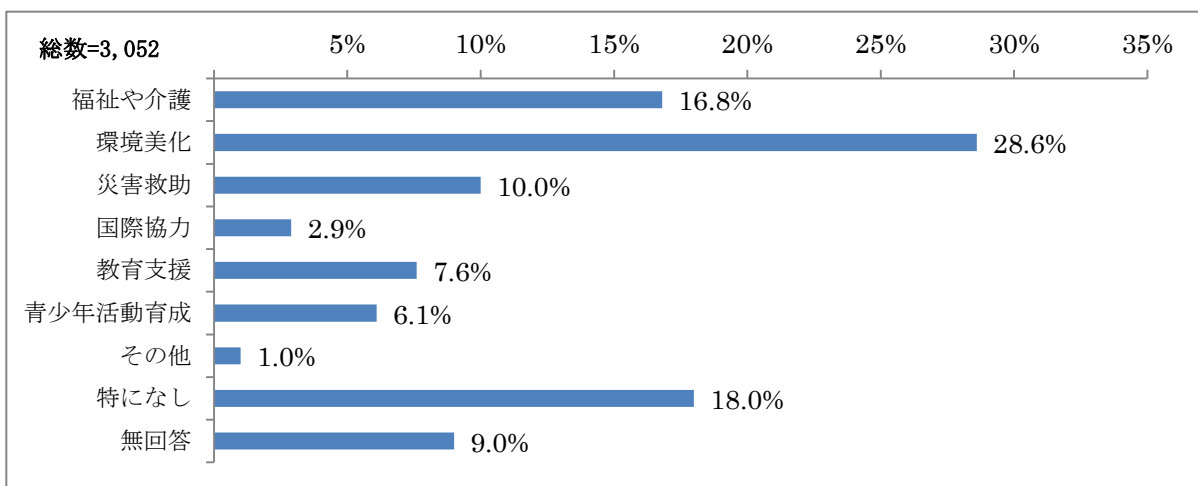


「子育てや介護の支援体制の充実」が48.3%と最も多く、次いで「女性の社会参加のPR」の23.2%、「女性の就業機会の確保」の21.4%の順となっています。

男女別 「女性の社会参加のPR」と回答した割合が男性で28.1%に対し、女性では19.1%にとどまっています。なお、「女性の就業機会の確保」や「子育てや介護の支援体制の充実」と回答した割合は、男性よりも女性が多い結果となっています。

年齢別 「子育てや介護の支援体制の充実」については、最も多い割合だったのが30代の方（69.2%）で、次いで20代の方（60.6%）の順となっています。

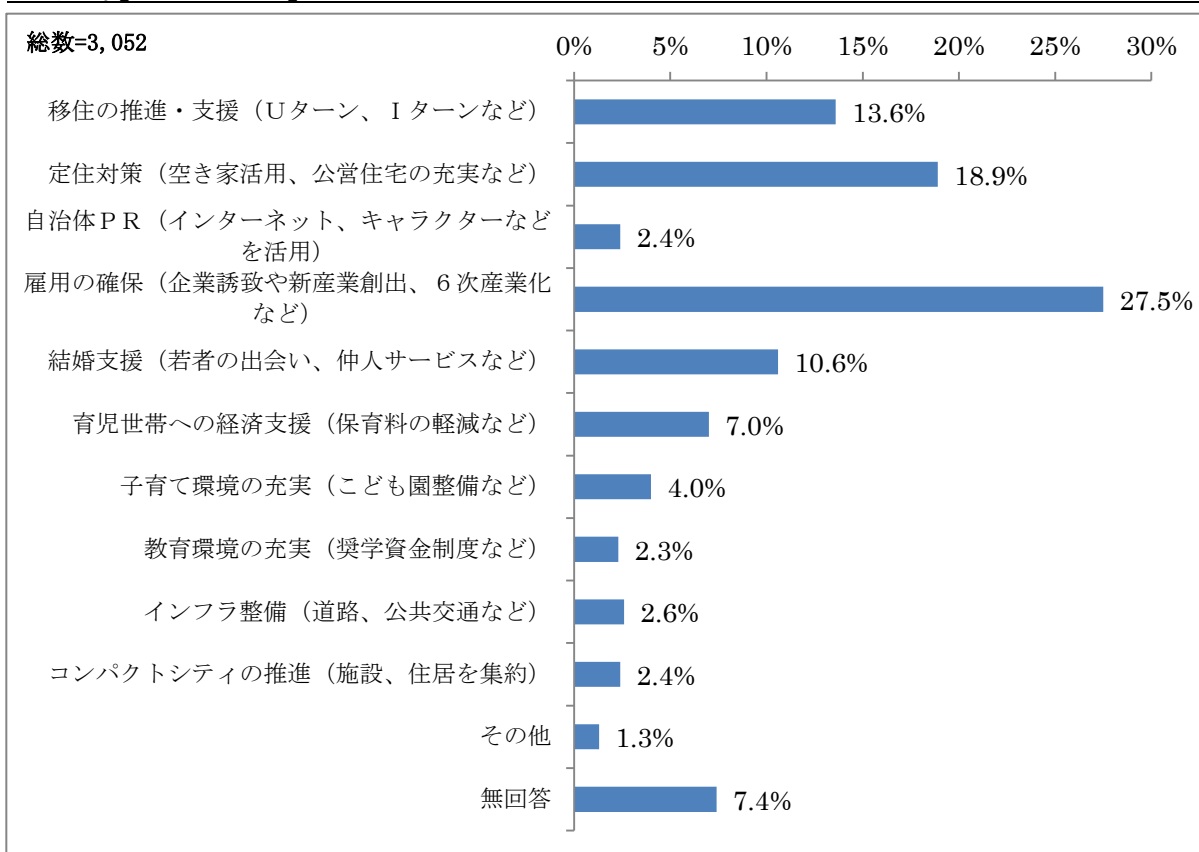
問 18 あなたが「ボランティア」活動を行うとしたらどんなことをしたいですか。【〇は1つだけ】



「環境美化」が28.6%と最も多く、次いで「特になし」の18.0%、「福祉や介護」の16.8%の順となっています。

また、前回調査（H17）と比較すると、2番目に多かった「福祉や介護」（22.8%）が3番目に下がり、4番目であった「特になし」（8.8%）が2番目に上がりました。

問 19 人口減少対策として、訓子府町が取り組むべきことについて、最も重視すべきことは何だと思えますか。【○は1つだけ】

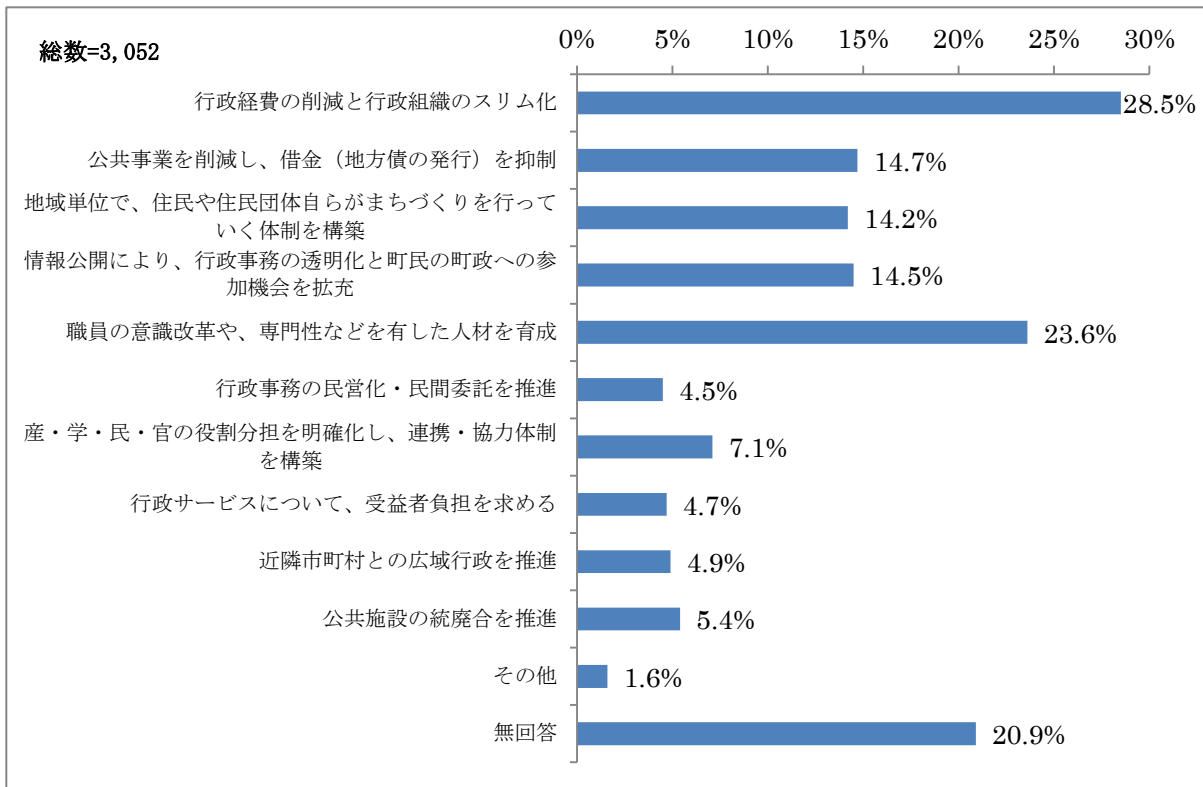


「雇用の確保」が27.5%と最も多く、次いで「定住対策」の18.9%、「移住の推進・支援」の13.6%の順となっています。

男女別 男女で特に差が大きかったのが「雇用の確保」で、男性の32.9%に対し、女性は23.1%にとどまっています。

職業別 「結婚支援」と回答した割合が最も多かったのが農林業の方（14.2%）となっています。

問 21 訓子府町が安定した行財政運営を進めていくためには、何が重要とお考えですか。【〇は2つまで】



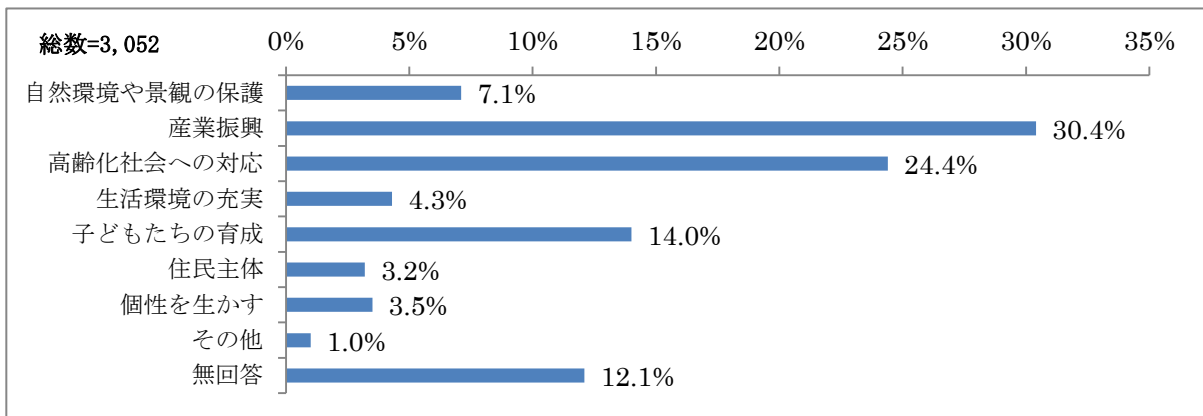
「行政経費の削減と行政組織のスリム化」が 28.5%と最も多く、次いで「職員の意識改革や、専門性などを有した人材を育成」の 23.6%、「公共事業を削減し、借金（地方債の発行）を抑制」の 14.7%の順となっています。

年齢別 「職員の意識改革や、専門性などを有した人材を育成」と回答した割合が最も多かったのが 30 代の方（32.1%）で、次いで 50 代の方（28.3%）の順となっています。

職業別 「公共事業を削減し、借金（地方債の発行）を抑制」と回答した割合が最も多かったのが公務員・団体職員の方（20.8%）となっています。

問 22 今後、訓子府町は、どの分野に最も力を注いでまちづくりを推進すべきとお考えですか。

【〇は1つだけ】



「産業振興」が 30.4%と最も多く、次いで「高齢化社会への対応」の 24.4%、「子どもたちの育成」の 14.0%の順となっています。

男女別 「産業振興」と回答した割合が男性で 36.3%に対し、女性では 25.4%にとどまっています。反対に「高齢化社会への対応」と回答した割合が女性 27.9%に対し、男性では 20.6%にとどまっています。

年齢別 「子どもたちの育成」と回答した割合が最も多かったのが 30 代の方（29.8%）で、次いで 20 代の方（23.7%）、10 代の方（23.3%）の順となっています。

職業別 「産業振興」と回答した割合が最も多かったのが農林業の方（49.5%）で、次いで商業・サービス業（自営）の方（41.8%）の順となっています。

問23 訓子府町で実施している事業で不要と思うものと、逆に新たに実施または充実すべきと思うものがありましたら記入してください。【自由記入】

< 1 不要と思う事業 >

◆16名からの意見～各種道路・新規施設整備事業（うち図書館関係2名）

◆10名からの意見～こども園建設

◆6名からの意見～居武士小学校

◆4名からの意見

お祭り（さむさむ祭り2名、芝桜祭り1名、敬老祭1名）、団体・組織への支援・補助金

◆3名からの意見

地域担当職員制度、利用者の少ないもの（具体的な提案はなし）

◆2名からの意見

中学生までの医療費助成、交通安全協会の町への配置、日曜日の消防サイレン

◆1名からの意見

まちづくり推進委員会、津野町との交流、町民アンケート、店舗出店等の支援事業、レクリエーション公園の芝ざくら、臨時職員の正規採用、戦没者追悼式

< 2 新たに実施または充実すべき事業 >

◆26名からの意見～老人福祉（うち老人ホーム建設8名）

◆13名からの意見～雇用対策

◆10名からの意見～観光・まちのPR、障がい者介護

◆9名からの意見～子育て支援

◆6名からの意見～農業関係

◆4名からの意見

住宅支援（空き家の利活用、家賃補助等）、道の駅設置

◆3名からの意見

医療関係（病院の改装・誘致）

◆2名からの意見

防犯対策、防災対策、居場所づくり、温泉の設備充実（食堂、露天風呂）、情報通信網の充実

◆1名からの意見

収穫祭、介護士への生活支援金支給、第三セクターでの不動産業及び就労支援、共同墓地建立、歩道の除雪（啓発含む）、街灯LED化、消防署新築、移動図書、道路の美化、現状維持、6次産業の起業者補助、地域担当職員の活動充実、キャラクター活用、安定した町財政の運営、商店街活性化、自然エネルギーの開発、運動施設の充実